

## 令和6年度 道徳教育 全体計画

学校番号	47	諫訪実業	高等学校	全日制	課程	商業 会計情報 服飾
------	----	------	------	-----	----	------------------

学校教育目標		道徳教育の重点目標	
1 学校におけるあらゆる教育活動を通して、社会的資質の向上、キャリア能力の育成、個性の伸張を図り、真に豊かな教養と実践力を持つ社会人の育成を目指す。 2 学力を保証し、人間的成长を保証し、進路を保証する高校を目指す。		1 他者や集団との関わりを通して、自己及び他者理解を深め、生命の尊重、いじめ・暴力を許さない心を育てる。 2 基本的生活習慣を確立し、自ら進んで身だしなみを整え、あいさつと掃除を行えるように自立心や自律性を高める。 3 地域と連携した諸活動を通して、地域の伝統や文化を尊重し、主体的に地域社会の形成に参画する人材を育成する。	
重点目標			
①いじめ・暴力のない「安心・安全」な学校をつくります。 ②身だしなみを整え、あいさつと清掃を進んで行う生徒を育てます。 ③授業を大切にし、生徒の基礎力と専門性を伸ばします。 ④地域と連携し、地域に貢献することができる人材づくりを進めます。 ⑤生徒に、見通しを持たせ、わかるように伝え、共感的に関わるように努めます。			

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科
1年	・お互いの人格を尊重し、相手の立場に立った言動ができるようになる。 ・基本的生活習慣を確立し、高校生として自覚ある行動をとる。	・基本的生活習慣の確立 ・自己を理解する ・進路についての关心を深める ○就業体験 ○諫訪実業メッセ ○2年次科目(コース)選択 ○諫実タウン	・集団の中で一人ひとりが自己的役割を認識し、協力し合う態度を育てる。 ○文化祭 ○SNS講話 ○薬物・性被害防止講話 ○特別支援講演会	・部活動や委員会活動に積極的に参加し、学校生活の充実や向上を目指す態度を育てる。 ○クラスマッチ ○部活動 ○生徒会活動	<b>国語</b> グループワーク等の中で、語る言葉や書く言葉を意識させ、お互いの気持ちを想像しながらコミュニケーションを図る力を養う。
2年	・規律・規範を重んじる姿勢を身に付け、下級生の模範となるべき自覚を持たせる。 ・学校行事や生徒会活動に主体的に参加する態度を育てる。	・コミュニケーション能力の育成 ・自己理解を深める ・働くことについて考える ○就業体験 ○3年次科目選択 ○大学生活体験 ○諫実タウン ○文化ビジネス研究	・集団の中でお互いを理解し、認めあい、協力する態度を育てる。 ○文化祭 ○修学旅行及び事前学習 ○SNS講話 ○薬物・性被害防止講話	・生徒会活動に積極的に参加し、また他者と協力することを通して、主体的に行動できる態度を育てる。 ○クラスマッチ ○生徒会の運営 ○部活動	<b>地理歴史</b> 社会との関りを意識して課題を追求し、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育てる。
3年	・社会の一員としての役割や義務を理解し、法令を遵守するよき社会人としての自覚を養う。 ・学習活動や学校行事において、他者と協力し、さらにリーダーシップを發揮できるようとする。	・自己確立、自己表現 ・進路実現を目指す ○高校生のための企業研究会 ○各種進路行事 ○諫実タウン ○学習成果発表会	・集団での活動を通して、協調性を養い、自己の役割と責任を自覚して意欲的に行動できる態度を育てる。 ○文化祭○SNS講話 ○薬物・性被害防止講話	・社会と一員としての自覚、さらに地域社会に意欲的に貢献できる態度を育てる。 ○生徒会の運営 ○文化祭の企画・運営 ○クラスマッチ ○部活動	<b>公民</b> 社会の仕組みを学ぶ活動を通して社会における自らの役割を認識し、地域社会を愛し活躍しようとする態度を養う。

家庭・地域との連携	・地域と連携した協働的・探究的な学習活動を通して、地域社会の文化や伝統、課題等を理解し、地域社会の発展に意欲的に貢献できる人材を育成する。 ・家庭にはホームページ、メール配信システム等を活用して情報を発信し、またPTA諸行事、公開授業などを通して、家庭と学校の連携強化を図る。
-----------	---